

1/17
(土曜)

円山公園 歴史・文化・環境

セミナー

開催時間 15:00～16:30 (受付14:30～)

京都の放置竹林問題・ 竹をもっと知る

「熊」が話題になりましたが、
京都の「竹」も大変なんです!

本来、とても有用である竹(竹林)が、価格の下落、プラスチック製品の普及、担い手の高齢化などで放置され、右記のような問題が広がってきています。

これらの問題を改善するために、私達にはどんな事ができるのか一緒に考えてみましょう!

円山公園
「竹あかり
プロジェクト」
関連イベント

2

人間目線でいえば、管理放棄された竹林には枯れた竹や倒れた竹も混じるため、景観として美しくない。さらに、人が立ち入らないために産業廃棄物など不法投棄の温床になるケースがある。

1

タケノコからたった数カ月で高さ10メートル以上に伸びる竹は、竹よりも背の低い植物から光資源を先取りし枯らしてしまう。その結果、竹林化するに伴い、生態系内の植物種の多様性が減少する。

3

人の入らない竹林はイノシシやシカなどにとってよい住み場となり、近郊農家や植生に対して獣害の温床になる。

講師: 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
小林 慧人先生

場所: 円山公園隣接地 和順会館(裏面地図ご参照)

参加費: 一般500円／高校生、大学生**無料**

対象: 一般・高校生以上 **定員:** 48名

※1/12締切、抽選(定員に満たない場合締切り延長)

申込: 応募フォーム(右記QRコード) または fax.075-561-1675



小林 慧人 先生

1992年生まれ。同志社大学理工学部、京都大学大学院農学研究科を経て、現在、森林総合研究所(関西支所)テニュアトラック研究員。博士(農学)。

